

**令和2年度執行事務事業**

施策名	基本事業	番号	事務事業名
スポーツツーリズムの推進	スポーツツーリズムによる誘客促進	1	国民体育大会開催準備事業
		2	スポーツツーリズム推進事業
		3	佐野市ゴルフ振興協議会参画事業
		4	国際クリケット場維持管理事業
		5	さのマラソン大会開催支援事業
		6	大澤駅伝競走大会支援事業
		7	関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業

事務事業名	国民体育大会開催準備事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	国体推進課	担当係	総務企画係	担当課長名	青木 智	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	新規事業・継続事業		継続事業
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						実施計画事業・一般事業		実施計画事業
	施策	1 スポーツツーリズムの推進						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進						任意的事業・義務的事業		任意的事業
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	15083	一般	10	5	1	国民体育大会開催準備事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	27年度～4年度		根拠法令 条例等	国民体育大会開催基準要領				
						実施方法		直営		
						事業分類		参画事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)						
○2022年栃木国体にて本市で開催するバレーボール、ラグビー競技デモンストラーション競技、全国障害者スポーツ大会開催に向けての準備 ○主な事務スケジュール H27 本市開催種目決定、開催予定施設決定 H28 開催種目先権市調査及び中央競技団体視察受入等 H29 準備委員会設立発起人会発足、施設整備、開催準備業務計画 H30 市国体準備委員会設立、啓発事業、施設整備推進 R1～R3 市準備委員会→市実行委員会に改組 各専門委員会(競技式典、輸送交通、宿泊衛生、総務企画、常任委員会)と連動した関係機関との事務調整 国県民運動と連動したPR活動 ①競技会場設計、PR看板、横断幕、カウントダウンボード ②先権地開催運営状況視察 ③大会運営ボランティア募集、研修、配置 ④花いっぱい運動、クリーンアップ運動等の推進 ○国体と併催される全国障害者スポーツ大会の調整		○第77回国民体育大会にて本市で開催するバレーボール、ラグビーフットボール競技デモンストラーション競技開催について、各競技団体、共催市との会議 ・競技会場設計業務委託 ・R2.5いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会佐野市実行委員会第3回常任委員会・第2回総会を画面にて開催 ・R2.8.2 市内高校女子バレー交流戦国体PR ・R2.12.13 県と合同によるどまんなかたぬま広報活動及び募金活動 ・R3.3第2回総務企画、宿泊衛生、輸送交通専門委員会、第1回競技式典専門委員会を画面にて開催 ・職員向けマウスカバーの作成、PRポロシャツの作成						
		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
		市国体準備・実行委員会(各専門委員会を含む)会議の開催回数	回	0	2	11	8	10
		大会啓発・PR活動事業数	回	0	2	3	4	4
		リハ大会開催回数	回	0	0	0	0	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

①市民 ②県民 ③競技団体(バレーボール、ラグビーフットボール、クリケット、ドッジボール)	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
	佐野市民	人	120,018	119,348	118,450	117,706	116,928
	栃木県民	人	1,962,433	1,953,852	1,943,946	1,934,857	1,925,219
	参加する競技団体	団体					2

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 本市開催競技実施を啓発し、大会等に関する協力団体・協力者を募る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
	準備(実行)委員会協力団体・事業者数	団体・社	2	2	2	2	4
	学生・市民ボランティア参加者数	人	-	-	-	-	450

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

・スポーツ事業を支えるボランティア活動に参加してもらう。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
	スポーツボランティア登録者数	人	49	50	50	50	50

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円					5,346	
	地方債	千円						
	その他	千円				6,000	1,616	
	一般財源	千円		674	5,021	2,118	27,738	
	事業費計(A)	千円	0	674	5,021	8,118	34,700	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					旅費	74	旅費	0
					需用費	0	需用費	21
				交付金	600	使用料	0	
						交付金	5,000	
			0	交付金	8,118	交付金	34,700	
人件費	人	3	4	3	5	10		
のべ業務時間	時間	200	1,891	5,673	8,982	14,655		
人件費計(B)	千円	763	7,226	21,642	32,668	53,300		
トータルコスト(A)+(B)	千円	763	7,900	26,663	40,786	88,000		

事務事業名	国民体育大会開催準備事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	国体推進課	担当係	総務企画係
-------	--------------	-----	---------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成25年に平成34年栃木国体が内々定され、平成26～28年に各競技種目の会場地が選定された。本市においては、第1次選定においてH26にラグビーフットボール全種別、第2次選定においてH28に成年男子バレーボール会場として内定を受け、施設整備も含めた具体的な準備が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・2019ラグビーワールドカップ、2020オリンピック・パラリンピックがとちぎ国体前にあり、その機運を国体につなげていこうと高まっていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、優先事項の変化が見られる。 ・「国体改革2003」により、大会規模の適正化(選手削減)、既存スポーツ施設の有効活用、企業協賛制度の導入などの改革が図られてきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・ラグビーフットボールに関しては、民間の応援団体の支援活動があり、国体に向けた盛り上げが期待されている。国体開催の取組みが、スポーツツーリズム事業として期待されている。また、これらの取り組みのなどを後世に伝えられるような意義を求められている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	・中央競技団体の視察を受けた施設整備関連は、国体開催施設整備事業に引継ぐものとした。市を挙げて国体を開催する準備を具体的に始める段階となり、実行委員会に付随する各専門委員会を開催し基本計画に基づく要項などの策定を行い準備を行い、リハーサル大会をより具体的に精度を高めて実施する。
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 ・中央競技団体の視察を受けた施設整備関連は、国体開催施設整備事業に引継いだ。市を挙げて国体の開催を具体的に始める段階であり、実行委員会、常任委員会、各専門委員会を開催して体制を整えている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 ・県国体準備委員会が定めた県・市の業務分担・経費負担等の基本方針により、会場地市町村の役割が定められており、市町村が主体となって市民各団体等により実行委員会を組織し進めていくため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 ・スポーツ基本法により主催者、参加者が定められている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 ・国体開催に向け、先催市の例を参考に進めて行くことになるが、多くの市民の協力を得ながら、本市ならではの取組みを検討することで、より大きな成果を見出すことができる。国体開催後も、レガシーとして引き継いでいくことで、地域経済への波及効果も大きく期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 ・ハード事業とソフト事業で建設コンセプトの共有、大会運営面からみた施設運営の有り方などを検討するうえで、連携は必須であるが、事務的には整備する側と棲み分けする必要がある。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名	国体施設整備事業
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 ・現状では、必要な準備範囲が定まっておらず評価できないが、開催年に近づくとともに準備に要する経費や運営人員が大幅に増加・増員していくため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案 ・佐野市で開催する競技に対する必要な負担であり、受益者負担を求めない事業ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	・国体は、県が開催の要請をして、日本スポーツ協会理事会において開催決定される事業のため廃止・休止は出来ないが、令和4年国体を開催しながら市民運動を展開し、庁内実施本部など組織体制の強化及び市民への周知・参画を効果的に行っていくことが必要である。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業統合・連携 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 国体・大会開催競技関係団体等と連携を取ることはもちろんのこと、市民が中心となった運営、おもてなしが出来るよう、国体開催までに様々なイベントや体験会、市民運動を実施するための道筋を立て、市民の機運の醸成を図っていく。組織の一部だけでは難しく、全庁的な組織や民間活力、そして市民が一体となって準備を進めなければならない。今後は、市民団体と連携しながら市民運動を展開し、庁内実施本部など組織体制の強化及び市民への周知・参画を効果的に行っていくことが必要である。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 コスト 削減 維持 増加 向上 成果維持 低下	県・市を挙げて実施するイベントで開催機運を盛り上げることができるか。市民団体、事業所も含め国体を盛り上げる意識が浸透するか。国体がいづ開催され、どんなものなのか、何をどうすればいいのかが良く分からないといった市民、企業、団体、ボランティアなどが想定されるので、今後、国体・大会の意義やそれぞれの具体的な活動について効果的な周知方法及び市民運動により、意識の高揚と主体的に参画することを促し、市民協働の国体・大会を目指して行く。

事務事業名		スポーツツーリズム推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之	
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
事業区分	市単独事業・国県補助事業						市単独事業				
	任意的事業・義務的事业						任意的事業				
	実施方法						直営				
	事業分類						講座・教室・イベント等開催事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15069	一般	10	5	1	スポーツツーリズム推進事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市スポーツ立市推進基本計画					
						リーディングプロジェクト 市長市政公約 該当 該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)					
スポーツツーリズムによる誘客促進を図るため、開催を担う競技団体等と連携し、市外からの誘客を見込めるスポーツ大会やイベントを誘致・開催し、大会を盛り立てる。	新型コロナウイルスの影響により、スポーツ大会やイベントが中止となり、活動は限定的だった。開催を後援し、盛り上げに貢献した大会 ・栃木県民球団ゴールデンブレイブス BCリーグ公式戦(プロ野球) 8/15 運動公園野球場 ※地元企業の協賛を援助し、試合を盛り上げる協賛品の提供に貢献した。 ・クリケットエンバシーカップ 9/26、27 国際クリケット場					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
ツーリズム事業として実施したスポーツ事業(大会・イベント等)の数	事業	5	5	5	2	5

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① スポーツ大会やスポーツ合宿の主催者 ② スポーツを行う又は興味関心のある団体や個人 ③ スポーツ大会の運営を支える市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
	日本体育協会の競技団体数	大会	59	59	59	59	59
	市人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	116,982

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① スポーツ大会や合宿を本市で実施してもらう。 ② スポーツを目的に本市に来てもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
	宿泊のあるスポーツ大会又は合宿の数	件	5	36	48	4	10
	市外からのスポーツ大会又は合宿の参加者数	人	6,750	6,577	4,974	880	2,000

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

・スポーツ施設は、スポーツツーリズムを主体的に供用する。 ・プロスポーツ団体等は、市内施設での試合やイベント等により集客する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
	スポーツツーリズムを主体にしたスポーツ施設数	件		2	3	3	3
	プロスポーツ団体と連携したツーリズム事業数	件	1	1	2	1	2

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	200									
	一般財源	千円	219		499		242		0		0	
	事業費計(A)	千円	419		499		242		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償物資費	67	委託料	199	委託料	242				
			消耗品費	139	交付金	300						
作成委託料			213									
人件費	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	300		300		300		300		300		
人件費計(B)	千円	1,145		1,146		1,145		1,091		1,091		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,564		1,645		1,387		1,091		1,091		

事務事業名	スポーツツーリズム推進事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	---------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市総合計画・後期基本計画(平成26年度～平成29年度)に、リーディングプロジェクトである「スポーツ立市の推進」を新たに掲げ、本事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年12月の「観光立国推進基本法」や平成22年8月「スポーツ立国戦略」の策定に端を発し、また2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催が決定されたことにより、大きな経済効果が期待されるなどスポーツを取り巻く環境は大きな変化してきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	(株)さのスポーツキャピタル)株式会社がスポーツ立市の発展につながる事業を収益を上げて実施できるように連携する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	スポーツ大会、スポーツイベントを誘致し、もてなしや受け入れ体制の向上などで今後の交流人口の増加に繋がる先導的役割を果たす事業である。また、本事業はスポーツツーリズムの推進に欠くことができない事業であり、施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	パイロット事業としては、スポーツ大会、スポーツイベントを誘致するには、その大会イベントを主催する団体へのアプローチ、連絡調整が必要であるが、将来的には民間にゆだねられる事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	スポーツツーリズムのモデル大会を対象としており、それらの大会の成果が、大会参加者数の増加に現れるので、対象・意図は妥当である。参加者・観戦者を対象にしたアンケート調査等の実施については、今後検討していきたい。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	他市、他県からの参加チームがあるような大会を今以上に誘致し、スポーツツーリズムの推進へ結びつき、交流人口を増やせる可能性は、極めて高い。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	本事業はスポーツツーリズムを推進する一つの手段であり、予算は大会運営に関わる費用に充当されている。支援の対象とする大会、イベントを増やす必要もあり、現状では削減余地はない。
	削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	大会イベント参加者・チームで市外、県外から多く参加があれば、本市での経済波及効果を生み出すことにつながる。スポーツイベント参加者またはチームという小さい枠にとらわれてしまうが、受益者負担は適正である。また併せて、個人やチームは大会へ参加するため、参加料を支払っていることでも適正と思われる。
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
市が事業負担するまでもなく、株式会社の役割が十分に発揮され、収益の見込めるスポーツ事業が開催できるようになれば本事業の廃止が可能となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業統合・連携 ; 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 株式会社と連携しつつ、スポーツツーリズムの推進につながる事業を展開する。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	株式会社の活用と連携
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		佐野市ゴルフ振興協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課		
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係		スポーツ立市推進係	担当課長名	村山 和之		
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業			継続事業			
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業			一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	15087	一般	10	5	1	佐野市ゴルフ振興協議会参画事業							
	事業区分						市単独事業・国県補助事業			市単独事業			
	事業区分						任意的事業・義務的事业業			任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	令和元年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法			直営				
						事業分類			参画事業				
						リーディングプロジェクト			該当				
						市長市政公約			該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)						
本市の観光資源・スポーツ資源である市内ゴルフ場と市ゴルフ協会と連携し、生涯スポーツ、競技スポーツとしてのゴルフ振興と「スポーツ立市」に資するゴルフツーリズムにより、交流人口の拡大、地域経済への波及を図る。		・佐野市ゴルフ協会と協議をすすめたが、振興協議会の設立には至らなかった。						
市ゴルフ協会、市ゴルフ場で、(仮称)佐野市ゴルフ振興協議会を設立し、協賛できる事業については市も参画して実施する。		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
		ゴルフを活用したツーリズム事業として実施した大会・イベント等の数	事業			0	0	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 佐野市内のゴルファー (※体協資料を指標として活用)		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
② 市内ゴルフ場利用者		体協ゴルフ部 人数(各年度末)	人		646	803	773	773
		市内ゴルフ場利用者数	人		361,244	421,841	400,187	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① 新たにゴルフを始める人が増え、市内ゴルフ人口が増加する。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
② 佐野市のゴルフ場を利用するゴルファーが増加する。		体協ゴルフ部 人数の増減	人			157	-30	
		市内ゴルフ場利用者の増減	人			60,597	-21,654	

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

・生涯スポーツ、競技スポーツとしてゴルフの振興 ・スポーツツーリズムによる市外からの誘客増加に伴う地域経済の活性化。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
		週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%			41.5	40.9	50.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円										10
	事業費計(A)	千円		0	0	0	0	0	0	0	0	10
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人					2		2		2	
のべ業務時間	時間					100		100		100		
人件費計(B)	千円	0		0		382		364		364		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0		0		382		364		374		

事務事業名	佐野市ゴルフ振興協議会参画事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	-----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	リーディングプロジェクトである「スポーツ立市の推進」に基づき、スポーツツーリズムにつながる事業として、令和元年に開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	以前と比較すると、ゴルフ人口は減少傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	今後の交流人口の増加に繋がる事業であり、スポーツツーリズムの推進に貢献する。施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	将来的には民間にゆだねられる事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	スポーツツーリズムの推進を意識しており、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	他市、他県からの誘客を促し、スポーツツーリズムの推進へ結びつき、交流人口を増やせる可能性はある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	本事業はスポーツツーリズムを推進する一つ的手段であり、協議会に参画する事務費に相当する負担金のみであり、現状では削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
市が事業負担するまでもなく、株式会社等の民間組織の役割が十分に発揮され、収益の見込めるスポーツ事業が開催できるような状況になれば、本事業の廃止が可能となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 佐野市ゴルフ協会や、市内ゴルフ場の依頼があれば、協議に参加して、市の立場で可能な関わり方を検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	佐野市ゴルフ協会と市内ゴルフ場による振興協議会の設立
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		国際クリケット場維持管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	村山 和之		
	施策	1 スポーツツーリズムの推進				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15353	一般	10	5	2	国際クリケット場維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	H25年度～		根拠法令 条例等	佐野市国際クリケット場条例 佐野市国際クリケット場条例施行規則				
	任意の事業・義務の事業						任意の事業				
	実施方法						直営				
事業分類						施設維持管理事業(市主体)					
リーディングプロジェクト						該当					
市長市政公約						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設の維持管理。</li> <li>・施設の修繕。</li> <li>・光熱水費、委託料等の支払い。</li> <li>・平成28年4月に佐野市国際クリケット場条例を施行し、呼称を「佐野市国際クリケット場」に変更、平成29年度より国際クリケット場維持管理事業。</li> <li>・「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトの対象施設となっている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業概要と同じ</li> <li>・利用料の見直しを行い、条例の改正を行った。</li> </ul>					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
利用者数		人	3,223	6,677	10,498	5,619	
修繕件数		件	1	1	5	1	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民。</li> <li>・国際クリケット場</li> </ul>		対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
人口				人	120,018	119,348	118,450	117,706	
国際クリケット場				箇所	1	1	1	1	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的		成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。</li> </ul>		利用者数		人	3,223	6,677	10,498	5,619	

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致、スポーツツーリズムを主体的に供用、市内施設での試合やイベント等により集客する。		上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数				件	5	7	10	4	20
スポーツツーリズムを主体にしたスポーツ施設数				箇所	2	2	2	2	3

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	98	163	316	220	390					
	一般財源	千円	5,949	16,453	16,965	16,199	18,426					
	事業費計(A)	千円	6,047	16,616	17,281	16,419	18,816					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			報償費	1	需用費	3,072	需用費	2,572	需用費	2,763	需用費	4,043
			需用費	1,781	役員費	151	役員費	153	役員費	153	役員費	154
役員費			211	委託料	13,394	委託料	13,287	委託料	13,503	委託料	14,619	
委託料			3,680	工事請負費	1,269							
使用料及び賃借料			375									
人件費	人	2	2	2	2	2	2					
のべ業務時間	時間	100	200	200	300	300						
人件費計(B)	千円	382	764	763	1,091	1,091						
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,429	17,380	18,044	17,510	19,907						



事務事業名	国際クリケット場維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	----------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・平成25年4月、県立田沼高校が廃校になり、学校開放事業ではなくなったことから、運動施設として整備し、広く市民に活用してもらう。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・身近に環境の整った運動施設が整備されることによりスポーツ活動が盛んになる。 ・平成28年4月から国際クリケット場になったことで、クリケット以外の利用がほぼなくなった。 ・「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトに必要な施設となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・クリケット協会等から、国際クリケット場としての維持にはさらに費用が必要との要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト内での運営方法の検討を行った
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトに必要な施設である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	・旧田沼高校は県から市に移管となり、市の公共施設となったことから、市が事業を実施することが妥当であるが、「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトにおいて、運営について他に委ねることを検討。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトに必要な施設であり妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトにより、大きな成果向上が見込まれる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	国際クリケット場として、必要な最低限の費用であり、今後の利用の状況によっては費用の増額も見込まれる。「クリケットタウン佐野」創造プロジェクトによる運営方法により、コストの縮減は図れると考える。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	条例を改正し、適正な受益者負担を徴収している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	国際クリケット場がなくなるとき、		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト内での運営方法の見直し	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		さのマラソン大会開催支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)				
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部署	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	市民スポーツ係	担当課長名	村山 和之		
	施策	1 スポーツツーリズムの推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進						実施計画事業・一般事業	実施計画事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	15036	一般	10	5	1	さのマラソン大会開催支援事業	任意的事業・義務的事业	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H17年度～			根拠法令 条例等	実施方法	直営					
						さのマラソン大会交付金交付要領	事業分類	支援事業					
							リーディングプロジェクト	該当					
						市長市政公約	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>さのマラソン大会組織委員会に対する交付金交付事務</li> <li>市はさのマラソン大会組織委員会事務局として、コース設定に係る警察協議、大会開催のPR、参加者募集、大会の開催準備・運営の全般に携わる。</li> <li>※第15回大会は、令和元年度台風被害により中止となった。</li> </ul>	主な会議：組織委員会総会書面審議(4月)、組織委員会(3月) * 令和2年度は、令和元年東日本台風による駐車場等の被害、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて中止						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
	会議開催回数	回	10	9	3	2	
	競技種目数	種目	25	25	23	-	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① マラソン愛好家	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
② (交付対象団体) さのマラソン大会実行委員会	参加(申込)件数	件	3,288	2,970	2,963	-	
	参加人数	人	3,588	3,287	-	-	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

<ul style="list-style-type: none"> <li>① スポーツ振興を図る。</li> <li>② 参加者の健康増進を図る。</li> <li>③ 大会の円滑な運営を支援する。</li> <li>④ また、おもてなしの心や佐野ブランドの紹介等を通して、市のイメージアップを図る。</li> </ul>	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
	大会参加者の満足度(ランネット評価)(100点満点)	点	84	70	-	-	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
	誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数	件	5	7	8	2	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円					167					
	一般財源	千円	3,900	7,730	8,433	0						
	事業費計(A)	千円	3,900	7,730	8,600	0	0					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	3,900	交付金	7,730	交付金	8,600	交付金	0		
	人件	正規職員従事人数	人	5	7	3	2	2				
費用	のべ業務時間	時間	1,000	1,000	1,200	200	200					
	人件費計(B)	千円	3,816	3,821	4,578	727	727					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,716	11,551	13,178	727	727					

事務事業名	さのマラソン大会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	----------------	-----	---------	-----	----------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成17年に安佐合併を記念し、3つの大会を1本化し、フルマラソンをメインとした大会を開催する。また、ゲストランナーとして松野明美選手を招待し盛大に始まる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	マラソン大会はここ数年開催が増加し、乱立状態にある。特色ある大会が選ばれる傾向になっており、日本陸上競技連盟公認取得を目指しコースを変更した。令和2年1月より新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全国のマラソン大会が中止となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	他大会との違いを明確にし、特色ある大会にしてほしいとの意見がある。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	令和元年台風被害からの復興、新型コロナウイルス感染症の影響等で社会情勢が変わり、大会のあり方を見直す必要がある。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びつくと見直しの余地がある	理由・改善案	市民一人1スポーツの推進のため、フルマラソンから2kmコースまでの23部門を設定し、幅広く参加者を募り、市民の健康増進と、体力の向上、市外参加者には市のイメージアップを図っており結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	長期の準備期間(約9ヶ月)を要し、大会当日は多くの関係団体の協力を得ているため市が主催することが妥当である。また、フルマラソンの公認化に向けて、陸上関係者に競技の運営を委ねていかに得ないが、総括として行政が携わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民の健康増進と体力の向上、市外参加者には市のイメージアップを図っており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	準備の効率化、負担軽減の検討及び長時間公道を使用するにあたり、交通渋滞、走者や関係者の安全確保の検討。参加者・応援者の駐車場の確保などが必要となる。また、市民による大会の盛り上げを図るための方策も必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	個人で参加するマラソン、チームで走る駅伝ともに、公道を利用し、多くの市民に声援をはじめ大会運営に協力していただくのは変わらない。ロードレースのまちとして、市民協力を得ながら街中を盛り上げる工夫を検討していきたい。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	大会運営にあたり警備等の経費がかさみ、これ以上のコスト削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	近隣の大会と比べても適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
スポーツ実施率の向上、スポーツツーリズムによるまちづくりを推進するために終了できない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 大会のあり方について再検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	令和元年度は台風、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により大会が中止となった。コロナに関しては依然先行きが不透明である。それとは別に国内のマラソンブームが沈静化している状況もあり、今後持続可能なランナーに選ばれる大会すべく、この機に再度一から見直しを図る。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		大澤駅伝競走大会支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				事業区分	担当	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					組織	担当係	市民スポーツ係	担当課長名	村山和之
	施策	1 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15031	一般	10	5	1	大澤駅伝競走大会支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S26年度～ 年度		根拠法令 条例等	大澤駅伝競走大会運営費補助金交付要領					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)						
大澤駅伝競走大会実行委員会に補助金を交付し、大会を主催する。 (大会の内容) ・本市の生んだ偉大な長距離ランナー大澤龍雄氏の追悼行事として昭和26年から継続して開催 ・県内外より例年100チーム超、延べ37,000人が参加する。 ・平成23年度大会から佐野市運動公園をスタート地点、中継所、フィニッシュ地点とする周回コースに変更。なお、令和元年度大会においては、競技場が改修工事のため競技場西道路をスタート地点、あかみ幼稚園北門前を中継所・フィニッシュ地点とする周回コースとした。 競走区分 一般・高校男子(42.195km)、一般男子(21.0975km)、一般・高校女子(21.0975km)、中学男子、中学女子に分けて実施。 ・競技運営は佐野スパルタ倶楽部が主管している。 * 令和元2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。		大会日程：令和2年2月7日(日) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 市の活動：大会中止の広報活動(ホームページ、郵送通知等)						
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)	
会議開催回数		回	7	5	-	-	7	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
①参加チーム。		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
②(交付対象団体) 大澤駅伝競走大会実行委員会。		エントリーチーム数	チーム	189	181	-	-	180
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
①陸上競技の普及と競技力向上を図る。 ②地域の連帯の絆を強める。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
		市内からのエントリーチーム数	チーム	35	28	-	-	30
		市外からのエントリーチーム数	チーム	154	153	-	-	150
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致する。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
		誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数	件	5	7	8	2	8

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	700		800		0		0		534	
	事業費計(A)	千円	700		800		0		0		534	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	700	補助金	800					補助金	534
	人件費	正職員従事人数	人	5		7		1		1		1
	のべ業務時間	時間	180		180		6		10		180	
	人件費計(B)	千円	687		688		23		36		655	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,387		1,488		23		36		1,189	

事務事業名	大澤駅伝競走大会支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和26年より郷土の生んだ偉大なランナー大澤龍雄氏の追悼を目的に始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	大会で使用している公道の交通事情等の理由により、コース変更を余儀なくされている。令和2年に拡大した新型コロナウイルスがスポーツイベントの在り方に影響を及ぼしている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	選手輸送のバスをH18年度より廃止。ゴールを佐野市役所に戻してほしい(H18年度より運動公園ゴール)。出場資格の制限(レベルの均一化)。H23年度:運動公園周辺周回コースへの変更 H25年度:佐野警察署からコース変更について指示。出場区分の再検討(レベルの均一化)。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	大会中止となったため取り組むことができなかった。次年度に繋げる。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	参加するランナーの育成に繋がるだけでなく、市外からの参加チームが約7割を占めており、スポーツツーリズムの政策にも合致している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市のPR、参加者の安全確保及び市民の理解や周知等、市が行うのが妥当である。なお、競技の運営主体は佐野スパルタ倶楽部が行っている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	本市の認知度アップや競技力の向上、さらには市民の健康増進と体力向上が図れるという点で対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	全国区のチームが参加することで、市内外へ大会開催を発信していくことができる。大会運営上仕方ないところがあるが、駐車場の規制とスタート時刻とのズレがある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	*類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	大会運営は、多数のボランティアで行われておりコスト削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	必要経費に応じた参加料を求めており、妥当である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	佐野スパルタ倶楽部が運営面・財政面等全てにおいて完結できる大会とした場合。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 令和2年度は中止となってしまったが、ツーリズム面でも大きな成果を上げている事業なので、受入れ面を強化していく。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	参加団体が増えていることで、交通渋滞の解消、走者や関係者の安全確保が課題となっている。そのため、運営体制強化や新たなボランティア等の確保をする必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	
	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり						担当係	市民スポーツ係	担当課長名	村山和之		
	施策	1 スポーツツーリズムの推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	1 スポーツツーリズムによる誘客促進						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	15065	一般	10	5	1	関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業							
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	昭和63年度～		根拠法令 条例等	関東小学生女子ソフトボール大会開催費補助金交付要領					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業						
						任意的事業・義務的事業	任意的事業						
						実施方法	直営						
						事業分類	支援事業						
						リーディングプロジェクト	該当						
						市長市政公約	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和2年度実績(令和2年度に行った主な活動内容)					
関東小学生女子ソフトボール大会実行委員会に補助金を交付し、関東小学生少女ソフトボール大会開催を支援する。		・開催予定日:7月23日(木)～25日(土) ・開催予定会場:栄公園野球場 ※第33回大会は、令和元年東日本台風被害や、新型コロナウイルス感染症により中止となった。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
参加チーム		チーム	30	32	32	-	32

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

参加チーム		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(見込)
参加チーム		参加チーム	チーム	30	32	32	-	32

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

① スポーツツーリズムの推進 ② 佐野市の参加チームの技術力の向上		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
佐野市の参加チームの最高成績		位	位	初戦敗退	ベスト8	初戦敗退	-	ベスト8

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致する。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(目標)
誘致できたスポーツ事業(大会、イベント、合宿等)の数		件	件	5	7	8	2	8

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	52		52		52				52	
	事業費計(A)	千円	52		52		52		0		52	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	52	補助金	52	補助金	52			補助金	52
	人件	正規職員従事人数	人	1		1		1		1		1
費用	のべ業務時間	時間	6		6		6		1		6	
	人件費計(B)	千円	23		23		23		4		22	
トータルコスト(A)+(B)		千円	75		75		75		4		74	

事務事業名	関東小学生女子ソフトボール大会開催支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	-----------------------	-----	---------	-----	----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和63年に第1回大会が開催された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	補助金、交付金については見直しが行われ、減額になっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	本市を会場とし小学生を対象とした関東大会を開催することにより、技術力の向上と市民にスポーツの場を提供するとともにスポーツに関する興味、関心を高め、スポーツ振興の向上を目的とし、大会開催に係る運営費の一部を補助するので施策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	大きな大会の開催によって、市民のスポーツへの関心と意欲の向上、経済的波及効果がのぞめるため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	本市を会場とし小学生を対象とした関東大会を開催することにより、技術力の向上と市民にスポーツの場を提供するとともにスポーツに関する興味、関心を高め、スポーツ振興の向上を目的とし、大会開催に係る運営費の一部を補助するので妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	現在、年間を通して多くの大会が開催されており、予算や大会開催会場の限りがあるため向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	必要最小限で行っているため削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	大会開催団体の運営経費の一部を補助するため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 本実行委員会の運営が行政から完全に自立した場合。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			